



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月10日

上場会社名 尾家産業株式会社 上場取引所 東
コード番号 7481 URL <http://www.oie.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 尾家 健太郎
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部副本部長 (氏名) 畑中 則行 TEL 06-6375-0151(代表)
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	90,864	—	2,744	—	2,778	—	2,067	—
2024年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 1,932百万円(—%) 2024年3月期第3四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2025年3月期第3四半期	249	65	—	—
2024年3月期第3四半期	—	—	—	—

(注) 当社は、2024年3月期連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、2025年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率並びに2024年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	40,448	13,783	34.1
2024年3月期	35,411	12,694	35.8

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 13,783百万円 2024年3月期 12,694百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2024年3月期	—	30.00	—	60.00	90.00	—
2025年3月期	—	45.00	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	45.00	90.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
2024年3月期期末配当金の内訳 普通配当 30円00銭 特別配当 30円00銭

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	118,700	—	3,420	—	3,510	—	2,430	—	293	62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 - 社(社名) 、除外 - 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	9,255,000株	2024年3月期	9,255,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	966,780株	2024年3月期	979,000株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	8,282,060株	2024年3月期3Q	9,050,482株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 金額の表示単位の変更について

当社の四半期連結財務諸表に表示される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。

なお、比較を容易にするため、前連結会計年度についても百万円単位に組替え表示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

当社グループは、前連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、（1）当四半期連結累計期間の経営成績の概況について、連結経営指標に係る対前年同四半期増減率を記載しておりません。

（1）当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、賃金上昇が消費活動の活性化をもたらす一方、食品やエネルギー価格の上昇が実質所得の上昇を阻み、引き続き先行き不透明な状況にあります。

当社グループの主要取引先であります外食産業におきましては、国内消費拡大やインバウンド需要の増大等を背景に引き続き回復基調にありますが、食材を始めとする原材料価格、エネルギー費、物流費等の高騰、長期間にわたる人手不足と人件費上昇、更にインフレによる消費意欲の減退等もあり今後の消費動向は極めて流動的です。

このような状況下、当社グループは第5次中期経営計画の骨子である営業重点施策に営業資源を集中させるとともに、外食市場に対して確実に商品を確認し、適正な価格で提供させていただくことに注力いたしました。

2024年4月より、営業組織改革の一環として地区再編を実施し4地区から6地区体制としましたが、これにより、従来よりもきめ細かなエリア戦略立案と営業活動が可能になりました。

営業施策としましては、2024年8月から10月にかけて全国14会場で秋季提案会を開催し、約6,000名のユーザーに会場いただきました。提案会で案内した新製品、新メニューについては多くのユーザーで採用されました。

重点施策のひとつであるヘルスケアフード業態につきましては、専任担当を増員して活動エリアを拡大したことにより業績の大幅伸長に寄与しました。

EC（電子商取引）ビジネスでは、楽天市場での取扱いアイテムの強化によりアクセス数が大幅に増加し、12月度の売上は前年同月の2倍を上回る実績となりました。

商品政策につきましては、10月にプライベートブランド商品（以下、PB商品）「燦宝夢 焼餃子」「燦宝夢 焼売」の2品をリニューアルいたしました。リニューアルに伴い食物繊維・たんぱく質を増量し『やさしいメニュー』ロゴ入り商品として発売しました。また、皮の配合を見直したことで時間が経っても皮が硬くなりにくくなり、この点でも高い評価をいただきました。

これらの商品政策及び既存商品の取扱促進に努めた結果、PB商品全体の売上は前年同期比で108%となりました。

仕入価格やエネルギー費、人件費等の高騰により、商品の値上げは喫緊の課題であり、今後も、ユーザーに丁寧に説明してご理解をいただくと同時に、PB商品を中心とした代替商品や新メニューの提案も含めユーザーの負担軽減と市場の拡大に取り組んでまいります。

営業拠点に関しましては、10月に高崎営業所、11月に熊本営業所を新築移転し、今後の売上拡大を見据え物流品質や商品管理レベルの向上を図るとともに、労働環境の改善も実現いたしました。今後も、市場拡大に向けた営業拠点の改廃を推進いたします。

物流への取組みにつきましては、上述の営業拠点政策に加え、2024年問題への対応も継続的に進めております。高騰を続ける委託物流費に対しては、社員による配送と委託配送の各費用を数値化し、営業拠点毎に社員と委託の配送比率を見直すと同時に配送の効率化を推進しております。また、庫内作業の機械化を進め、時短とこれに伴うコスト削減を図りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高908億64百万円、営業利益27億44百万円、経常利益27億78百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益20億67百万円となりました。

（2）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

（資産）

当第3四半期累計会計期間末の総資産は、404億48百万円となり、前連結会計年度末と比較して50億37百万円の増加となりました。

主な要因は、現金及び預金が5億61百万円、受取手形及び売掛金が29億98百万円、商品が16億79百万円増加したことによります。

（負債）

負債は266億65百万円となり、前連結会計年度末と比較して39億48百万円の増加となりました。

主な要因は、買掛金が47億36百万円増加した一方で、未払金が4億9百万円、未払法人税等が3億69百万円減少したことによります。

（純資産）

純資産は137億83百万円となり、前連結会計年度末と比較して10億88百万円の増加となりました。

主な要因は、利益剰余金が11億98百万円増加したことによります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、2024年5月10日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、2024年11月8日に公表いたしました「2025年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,990	4,552
受取手形及び売掛金	15,045	18,043
商品	3,285	4,964
未収入金	1,657	1,349
その他	49	109
貸倒引当金	△8	△8
流動資産合計	24,021	29,011
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,519	10,873
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,203	△6,486
建物及び構築物（純額）	4,315	4,386
機械装置及び運搬具	454	467
減価償却累計額及び減損損失累計額	△360	△373
機械装置及び運搬具（純額）	94	93
工具、器具及び備品	545	565
減価償却累計額及び減損損失累計額	△425	△440
工具、器具及び備品（純額）	120	124
土地	2,280	2,280
建設仮勘定	19	—
有形固定資産合計	6,830	6,884
無形固定資産		
のれん	58	49
ソフトウェア	122	120
その他	27	27
無形固定資産合計	208	197
投資その他の資産		
投資有価証券	1,057	823
差入保証金	2,275	2,506
繰延税金資産	858	863
その他	209	209
貸倒引当金	△49	△48
投資その他の資産合計	4,351	4,355
固定資産合計	11,390	11,437
資産合計	35,411	40,448

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	15,485	20,221
1年内返済予定の長期借入金	209	58
リース債務	57	43
未払金	599	190
未払費用	1,770	1,847
未払法人税等	846	477
賞与引当金	902	751
資産除去債務	4	—
その他	125	267
流動負債合計	20,000	23,857
固定負債		
長期借入金	115	74
リース債務	43	72
役員退職慰労引当金	200	218
資産除去債務	756	773
退職給付に係る負債	1,465	1,525
その他	134	143
固定負債合計	2,716	2,807
負債合計	22,716	26,665
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,305	1,305
資本剰余金	1,233	1,240
利益剰余金	10,938	12,136
自己株式	△1,515	△1,496
株主資本合計	11,962	13,186
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	477	346
退職給付に係る調整累計額	254	250
その他の包括利益累計額合計	732	596
純資産合計	12,694	13,783
負債純資産合計	35,411	40,448

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	90,864
売上原価	73,827
売上総利益	17,036
販売費及び一般管理費	14,292
営業利益	2,744
営業外収益	
受取利息	2
受取配当金	12
受取賃貸料	12
雑収入	18
営業外収益合計	45
営業外費用	
支払利息	1
賃貸費用	0
和解金	9
雑損失	0
営業外費用合計	12
経常利益	2,778
特別利益	
投資有価証券売却益	249
特別利益合計	249
税金等調整前四半期純利益	3,028
法人税、住民税及び事業税	908
法人税等調整額	52
法人税等合計	960
四半期純利益	2,067
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,067

四半期連結包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	2,067
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△131
退職給付に係る調整額	△4
その他の包括利益合計	△135
四半期包括利益	1,932
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	1,932
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社グループの報告セグメントは「食品卸売事業」のみであり、「倉庫業」は重要性が乏しいため記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）は、次のとおりであります。

	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	418百万円
のれんの償却額	8